

第44回地盤工学研究発表会 優秀論文発表者賞を受賞！

M1 門間俊之君

平成21年8月18日から21日、神奈川県で開催された第44回地盤工学研究発表会（社団法人地盤工学会主催）において、大学院博士前期課程社会環境デザイン工学専攻の門間俊之君が優秀論文発表者賞を受賞した。同賞は同学会において優れた研究講演を行った者に対して授与されるもので、今回「石積み擁壁の地震時変状予測のための基礎的研究」と題して発表した論文に対して贈られたものである。この論文は門間君のほか、同専攻の若井明彦准教授、卒業生の黒澤美麻さん（現・清水建設(株)）、独立行政法人建築研究所の平出務氏との連名で発表されたものであり、同研究室で進めている共同研究成果の一部を取りまとめたものである。



受賞対象となった研究は、造成宅地等で広く使われる石積み擁壁の耐震性とその効果的な耐震補強対策を検討するための災害予測シミュレーション手法を提案するものである。擁壁背面土と壁体との相互作用、壁面を構成する間知石ブロックの複雑な運動をそれぞれ精度良く再現するための特殊な数理モデルを用い、実物大の石積み擁壁を振動崩壊させた大型実験をコンピュータ解析で再現することに成功した。本研究による成果の一部は、現在土木学会で活動中の石積み擁壁の耐震性検討委員会においても採用され、大規模地震に対する同構造形式の総合的な耐震対策に向けた有効な活用が今後期待される。